

# 防災だより

福井県立福井南特別支援学校

福井市南居町 82 (0776) 36-7631



第 16 号

平成 30 年 12 月 14 日

今回は、本校で取り組んでいる防災教育についてご紹介します。

「災害はいつ起こるか分からない」「自分の命は自分で守る」など災害発生時のことであったり、「日常とは違う環境になるかも」という災害後に想定される避難生活であったり、様々なことを考えながら、子どもたちに伝えるようにしています。教職員自身も防災に関する研修を受け、防災の意識を高めるような取組をしています。

## 様々なパターンの避難訓練！（寄宿舍）



本校の寄宿舍では、「災害発生時に自分の命を守る行動が取れるようになる!」を目標に、年間 8 回、災害の種類や発生場所、発生時刻のパターンを色々変えながら訓練を行っています。

発生時刻によって舎生の活動場所が違っているため、その時々に応じた避難を指導員の指示に従って行います。火災想定の際は、建物から出た後にばらばらにならないように避難ロープに掴まり、まとまって避難します。訓練の回数を重ねるごとに、各部屋に設置された常備灯を忘れずに持つことなどが身に付き、落ち着いて避難することができるようになります。



年度初めに、避難訓練の説明（避難方法など）を聞きます。

避難ロープに掴まりながら・・・はぐれないように・・・



お風呂に入っているときに避難するには・・・さあ、どうする？  
備え付けのバスロープを着ます!



部屋では身近なもので頭を守ります。シェイクアウト!



## 避難生活って、どんな感じかな？

高等部の生活単元学習で、避難生活の一端を体験してみようという単元を設けました。

生徒たちにとって、いつもと違う状況を想像することは難しいですが、実際に非常時のグッズを使って体験することで、もしもの時の混乱を少しでも軽減できるのではないかと思います。



包帯を巻いてもらったよ



＜懐中電灯の電池交換をやってみました＞



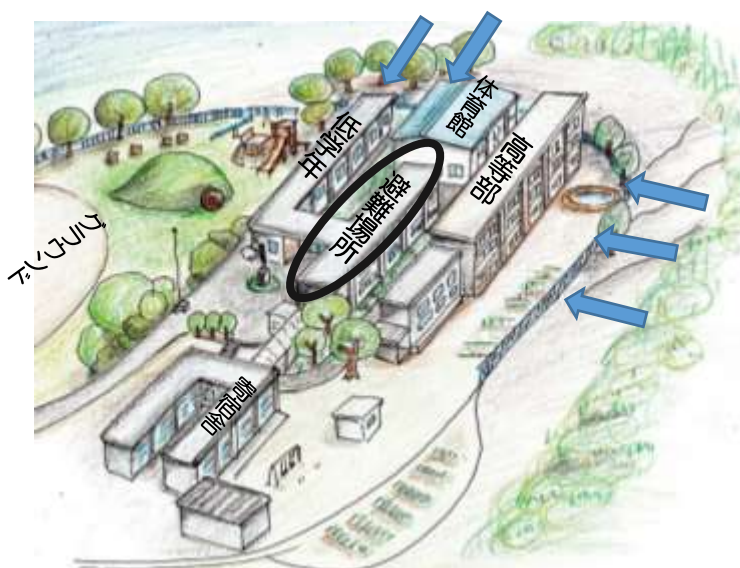
寝袋って案外安心するなあ

## ＜ 学校防災アドバイザー研修 ＞

11月26日に、福井防災士会から防災アドバイザーの方をお招きして、教職員の研修を行いました。土砂災害ハザードマップで、本校の高等部南側斜面と東側斜面は危険区域に指定されているので、どの程度危険なのか、どこに避難するとよいのかなどのお話を聞くことができました。避難場所としては、本校の取り決めどおり、中央棟2階（中学部棟）が望ましいとのことでした。本校はもともと、もう少し北側に建てられる予定でしたが、地盤が弱いことから南側の山を切り崩して建てられたそうです。災害対策として、今だけでなく「昔を知る」ことも大切だということをお伝えしました。

また、東日本大震災の事例を聞き、学校は（教員は）どう判断してどう動いたらいいのか、考えさせられる場面もありました。この研修でアドバイザーの方が一番伝えたかったこと、それは「命を守る」です。

私たち大人もこのことを頭に置き、常日頃から目の前の子どもたちの命を守るために何ができるかを考え続けていかなければ・・・と感じました。



学校ホームページURLはこちら

[http://www.fukuiminami\\_sh.ed.jp/](http://www.fukuiminami_sh.ed.jp/)

学校HPの「危機管理」の中に防災に関するページがあります。

この「防災だより」とともにぜひ御覧ください。